

教育研究業績書 (記入例)				
		平成	年 月 日	
		氏名	Ⓔ	
研究分野	研究内容のキーワード			
科学研究費補助金の小区分レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを3つ以内で記載してください。	研究内容を表すキーワードを5つ以内で記載してください。			
教育上の能力に関する事項				
事項	年月日	概要		
1 教育方法の実践例		<ul style="list-style-type: none"> 優れた教育方法の実践例、マルチメディア機器を活用した授業方法、学生の授業外における学習促進のための取組、講義内容の Web 上での公開等を科目ごとに記載してください。 		
2 作成した教科書、教材		<ul style="list-style-type: none"> 授業や研究指導等で使用する著書、教材等。 		
3 教育上の能力に関する大学等の評価		<ul style="list-style-type: none"> 学生による授業評価、教員同士の相互評価等をまとめたもの 上記以外で、自己点検・評価での評価などを記載してください。 		
4 実務の経験を有する者についての特記事項		<ul style="list-style-type: none"> 大学から受け入れた実習生等に対する指導 日本薬剤師センター等の職能団体の依頼による研修指導等 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修 大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等 		
5 その他		<ul style="list-style-type: none"> 大学教育改善に関する団体等での活動の概要 教育実績に対する受賞歴 国家試験の問題作成等を記載してください 		
職務上の実績に関する事項				
事項	年月日	概要		
1 資格、免許	取得年月日を記載してください。	資格、免許（教職免許を含む）の種類・発行号数を記載してください。		
2 特許等		特許があれば記載してください。		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		<ul style="list-style-type: none"> 大学との共同研究 企業提携・研究開発等の担当実績 各種審議会・行政委員会等の委員 行政機関における調査官等 研究会、ワークショップ等での報告や発表 調査研究、留学、海外事情等調査 		
4 その他		<ul style="list-style-type: none"> 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等 論文の引用実績等 		
研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著	発行又は発表の年月	発行所・発表雑誌等	概要
	共著		又は発表学会等の名称	
(著書) 1. ○○○概論 ※査読付きの場合 「(査読付)」と明記	共著	(古い順から) 平成○年○月	○○出版	書の内容を記載する(200字程度) 英文については、日本語訳にしてください。 (本人担当部分) pp100~150 共著者○○、○○、○○、○○ ※本人の名前に下線を引く。

<p>2. △△△△論</p>	<p>単著</p>	<p>平成〇年〇月</p>	<p>〇〇文庫</p>	<p>※筆頭論文である場合はその旨を明記してください。</p> <p>著書の内容を記載する(200字程度) 英文については、日本語訳にしてください。 </p> <p>※掲載予定論文には掲載決定通知の写しを添付してください。</p>
<p>(学術論文) 紀要、学会誌等で発表した論文を記載してください。 ※査読付きの場合 「(査読付)」と明記する</p>	<p>共著 または 単著</p>	<p>(古い順から) 平成〇年〇月</p>	<p>〇〇大学紀要第 〇巻 pp100～ 115</p>	<p>以下、上記に準じて作成してください。 ※学位論文である場合は、その旨を明記してください。 ※掲載予定論文には掲載決定通知の写しを添付してください。</p>
<p>(その他) 学会での発表・報告、発表・報告の抄録集、翻訳等の小見出しをつけて記載してください。 (学会発表) (翻訳)</p>	<p>共同 または 単独 共著 または 単著</p>	<p>(古い順から) 平成〇年〇月</p>	<p>第〇〇回〇〇学会 (名古屋市)</p>	<p>以下、著書、学術論文と同様の記載方法</p>
<p>(競争的研究資金および外部資金の獲得資金の獲得実績) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究C 〇〇〇〇〇〇〇〇</p>		<p>平成〇年～ 〇年</p>		<p>10,000,000円(研究代表者・分担者の別)</p>

重 要 (必ずお読みください。)

1. この書類は、担当授業科目に関する教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項、学術論文等について、作成するものです。
2. 最近の教員審査では、著書、学術論文等の「研究業績等に関する事項」の審査を行うことは当然ですが、「教育上の能力に関する事項」、「職務上の実績に関する事項」が重要視されています。**特に、大学・短期大学等の教育経験が短期間の教員及び教育経験がない教員並びに研究業績が少ない教員の皆様の審査は、「教育上の能力に関する事項」、「職務上の実績に関する事項」が重要となりますので、できるかぎり詳細に記載してください。必要ないかどうかは自分で判断せず、関係のありそうな事項はすべて記載してください。**
3. 著書・学術論文等が共著の場合は、概要（内容）を 200 字程度（150 字～250 字）記載した後に、（本人担当部分）Pp〇〇～〇〇を記載し、次の行に共著者：〇〇、〇〇、〇〇を記載のうえ、本人の名前の下に下線を引いてください。また、共同研究のため、本人担当部分の抽出が不可能な場合は、（共同研究につき本人担当部分抽出不可）と記載してください。
4. 著書で 1 冊の本を複数で執筆した場合は、当該部分は単著であっても共著として扱ってください。
5. その他の学会発表で口頭発表の場合は、単独か共同か明確にしてください。共同の場合は、概要の欄に、学術論文等と同様に概要 200 字の後に、本人担当部分、共同発表者を記載してください。